

教科名	地域	科目名	地域環境保全	学年	全学年	単位数	1
準教科書	〈生物多様性〉入門 (岩波ブックレット 785)						

1 担当者からのメッセージ

地域活性化の為にはその地域の魅力を知らなければなりません。では地域の魅力とはなんのでしょうか。それは地域の人々が長い営みの中で育んできた文化であり、その文化生み出した地盤となる自然環境です。地域の宝はその地域の生態系であり、生物多様性です。わが池田高校の立地する池田町には絶滅危惧種であるハリヨをはじめとした豊かな生物多様性があります。この豊かな生物多様性を守る活動や学びを通して地域の魅力を再発見しましょう。

2 学習の到達目標

- ・水生生物の捕獲や調べ学習を通して水生生態系について深く理解する。 (知識・技能)
- ・外来生物の影響について実際に捕獲を行うことにより考察する。 (思考・判断・表現)
- ・ハリヨやその他の水生生物の個体数調査と、水質や水温などの環境調査を行い、そのデータをもとに環境を評価し、今後どのような保護活動が必要かを考え提案する。 (思考・判断・表現)
- ・ハリヨの保護活動を通して地域貢献の姿勢を身に付け、またハリヨを守る会や池田町教育委員会の方々と協働して保護活動に取り組むことで多様な人々と協働する姿勢を養う。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 学習計画

		単元名 (学習項目)	学習内容 (ねらい)
前期	前期 中間	・生物多様性について ・岐阜県西濃地方の絶滅危 惧種について ・河川調査	・地元の絶滅危惧種の現状について調べ学習を行ったり、専門家からの講義により、理解し、今後の活動について考える。 ・池田町河川の水生生物の捕獲調査、水質・水温調査を行い、保全状況について分析する。
	前期 期末	・地元の保護団体との共同 保護活動 ・河川調査	・ハリヨを守る会や池田町教育委員会の方々と協働して保護活動に取り組む。 ・池田町河川の水生生物の捕獲調査、水質・水温調査を行い、保全状況について分析する。
後期	後期 中間	・地元の保護団体との共同 保護活動 ・河川調査	・ハリヨを守る会や池田町教育委員会の方々と協働して保護活動に取り組む。 ・池田町河川の水生生物の捕獲調査、水質・水温調査を行い、保全状況について分析する。
	学年 末	・外来種の影響 ・活動のまとめ	・池田町ハリヨ池の水位を下げ、外来生物の除去活動を行い、外来生物の影響について考察する。 ・蓄積したデータを分析して、プレゼンテーションにまとめ、発表する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物多様性について深く理解し、その保護の必要性について正しく説明できる。	西濃の生物多様性を保全するために何が必要かを観察データを用いて提案できる。	多様な人々と協働し、地域活性化のために取り組もうという態度を身に付けている。

5 評価方法

計 時間 (分授業)

生物多様性に関する知識、環境を評価するデータの収集に関する技術、活動への参加姿勢、データをまとめたレポートおよび発表を総合的に評価する。

知識・技能…20% 思考・判断・表現…40% 主体的に学習に取り組む態度…40%

